

これまでも、これからも、私たちは、地域の皆さまと共に歩み続けます。

社会貢献活動の基本方針

地域社会の一員として地域社会との交流を深めるとともに、文化・教育振興支援、社会福祉活動等の社会貢献の継続的な活動を通じ、地域との共栄、地域奉仕を実践してまいります。

七十七銀行 社会貢献活動 6つのテーマ



2019年度社会貢献活動計画

当行で掲げる6つのテーマに沿ったさまざまな社会貢献活動を通じ、地域の復興・活性化を図るとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、役職員の理解の深化および意識の高揚を図り、地域と共に持続可能な社会の実現を目指してまいります。

1. 金融サービスの提供を通じた社会貢献活動を推進し、お客さまと共に社会や環境の課題に取り組んでまいります。
2. 金融教育等の支援に積極的に取り組み、地域の金融リテラシー向上を図るとともに将来の担い手の育成に貢献してまいります。
3. 社会貢献に対する役職員の意識の高揚を図るため、地域行事への参加や環境への取組みなどを積極的に推進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



地域との交流 ESG

■「一店舗一貢献運動」の実施【140周年記念事業】

地域社会の一員として地域との交流を深めるとともに、社会貢献に対する当行行員の意識の高揚を図るため、創業140周年記念事業の一環として、「一店舗一貢献運動」を実施しました。本運動は、当行の営業店142カ店全て（振込専用支店を除く）の営業店において、当行で掲げる6つのテーマに沿った社会貢献活動を選定のうえ2018年8月から12月末までの期間中に実施したものです。



■ 地域行事への参加

2019年5月、第35回「仙台青葉まつり」が開催され、行員約160名が祭りのハイライトである山鉾巡行に参加いたしました。当行の「七福太鼓山鉾」の勇壮な太鼓の響きと引手の威勢のよい掛け声、さらに踊り手の華麗な演舞に観客から拍手と声援が送られました。

毎年8月に開催される仙台七夕まつりでは、祭りの会場となるアーケード内の営業店と本店営業部前に七夕飾りを飾っているほか、毎年1月に行われる小正月の伝統行事であるどんと祭では、大崎八幡宮へ裸参りを行っており、2019年1月、約50名の行員が参加いたしました。



仙台青葉まつり



どんと祭

環境問題への取組み ESG

地域金融機関として環境に対する当行の考え方を明確化し、地域の自然環境を保全し環境負荷の軽減を図る取組みを積極的かつ継続的に推進するため、「環境方針」を制定し、公表しております。

環境方針

【基本理念】

七十七銀行は、良き企業市民として、美しく豊かな自然環境を守り、次の世代により良く引き継いでいく社会的責務があると考えています。当行は、経営の基本理念である行是の第一に掲げる「奉仕の精神の高揚」という考え方のもと、地域社会と共生する企業を目指し、持続可能な社会の形成に向け環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

【行動指針】

1. 環境に関連する法規制、協定およびその他当行が同意する事項を遵守します。
2. 省エネルギー、省資源およびリサイクル活動を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
3. 環境に配慮した金融商品、サービスの提供により、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
4. 役職員一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、地域社会の環境保全活動を推進するために、啓発活動に取り組めます。

■ 森林保全活動の実施【140周年記念事業】

創業140周年記念事業の一環として、2018年9月に宮城県等と締結した「みやぎ海岸林再生 みんなの森林づくり活動」の協定に基づき、仙台市荒浜地区で役員と2018年度の新入行員がクロマツの苗木1,000本を植樹しました。植樹地は「七十七 未来の森～For the Future～」と命名し、災害から地域を守る海岸防災林となるよう管理してまいります。



■ 金融商品・サービスを通じた環境保全活動

当行では、金融商品・サービスの提供を通じて、環境保全活動等の社会貢献活動に積極的に取り組む企業や、個人のお客さまを支援しております。

《事業者向け商品》

地球温暖化防止、リサイクル関連設備導入等に取り組む企業を対象とした「＜七十七＞社会貢献活動支援ローン」をお取り扱いしております。

また、2019年4月よりESGの施策目標を策定している企業を対象とした「77ESG私募債」の取扱いを開始いたしました。

《個人のお客さま向け商品》【140周年記念事業】

環境配慮型企業等への投資を対象とした投資信託「フィデリティ・スリー・ベーシック・ファンド（水と大地とエネルギー）」をお取り扱いしているほか、エコカー等を購入するお客さまに対し、77マイカーローンの金利引下げを実施しております。

また、2018年7月より、創業140周年を記念し、「＜七十七＞ESG日本株オープン（みやぎの絆）」の取扱いを開始いたしました。本ファンドは、当行が受け取る信託報酬の一部を震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の再生活動のため寄付するものです。

《環境に配慮した素材を使用した通帳の取扱い》

通帳の素材に再生紙としてリサイクルが可能な「紙クロス」を使用しているほか、焼却時の有毒ガス発生を抑制するため、印刷塗料に「植物油インキ」を使用し、磁気ストライプには「脱塩化ビニル」の素材を採用しております。

また、これまで口座開設アプリおよびインターネットバンキングを通じてのみ選択可能としていた「WEB通帳」を、2018年4月より、窓口での口座開設時にも選択いただけるように変更し、推進しております。

「WEB通帳」とは、紙の通帳を発行しないかわりに、インターネットバンキングなどWEB上で残高照会や取引明細照会を行っていただくエコで便利な通帳です。



金融教育の支援

■ 東北学院大学提供講座

地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて地域への社会貢献を推進することを目的に、2011年度より、東北学院大学経営学部において「七十七銀行提供講座」を開講しております。

銀行業務の具体的内容や最近の金融動向および地域金融機関の役割等について、当行行員が講義を行う本講座は、今年度で8回目となり、2018年9月の開講から、272名の学生が受講いたしました。



■ 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会

人生設計や生活防衛に不可欠な金融経済知識を習得する教育事業を通じて、地域への社会貢献を図るため、特定非営利活動法人金融知力普及協会との共催により、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会を2009年度より開催しており、2018年12月には、10回目となる宮城大会を当行本店で開催いたしました。



■ 体験型教育プログラム「スチューデント・シティ」の活動

2014年9月より仙台市が開設した就業体験施設「仙台子ども体験プラザ-Elem」において、小学生向け体験型教育プログラム「スチューデント・シティ」の活動を行っており、当行は本プログラムの協賛企業として、銀行窓口を再現したブースを設置するとともに、運営ボランティアの派遣を行っております。2018年度は、120校8,684名が参加いたしました。



■ 七十七銀行金融資料館【140周年記念事業】

創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝を込めて1998年12月に開設した金融資料館では、展示パネルや実物資料、映像、体験展示などを通して、お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しております。

創業140周年記念事業の一環として、2019年3月にリニューアルオープンし、新たに、プロジェクションマッピングやお子さま向けのエリア等を新設いたしました。



■ お子さま向け金融教育サイト「77(しちしち) キッズランド」【140周年記念事業】

2019年3月、金融資料館のリニューアルオープンに合わせ、お子さま向けの金融教育サイト「77(しちしち) キッズランド」をオープンいたしました。

サイト内コンテンツ「シチシカノート」では、当行公式キャラクター「シチシカくん」が、お金や銀行に関すること等をマンガ形式でわかりやすく解説しています。



文化活動の後援

■ 七十七スターライトシンフォニー

仙台市民の手作りによる冬の風物詩として定着している“SENDAI光のページェント”を、当行も市民の一員として盛り上げていくため、1991年より「七十七スターライトシンフォニー」と題してチャリティーコンサートを開催しております。

2018年12月、五輪真弓さんをゲストに迎え、仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏をバックに数々のヒットナンバーをお届けしたほか、震災復興や光のページェントの運営等に役立てていただけるよう募金活動も実施いたしました。



■ 七十七ふれあいコンサート

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力いただき、1992年度から継続して開催しているコンサートです。

2018年度は女川町立女川中学校、大崎市立敷玉小学校においてコンサートを開催し、児童、生徒およびご父兄等約750名の皆さまに迫力ある演奏を鑑賞いただいたほか、オーケストラの楽器紹介や指揮者体験をお楽しみいただきました。



スポーツの振興

■ 仙台国際ハーフマラソン大会でのボランティア活動

2019年5月、「第29回仙台国際ハーフマラソン大会」において、行員約40名が給水スタッフとしてボランティア活動を行いました。

当日は仙台駅近くに設置された給水所で給水作業を行いながら、懸命に走るランナーへ熱い声援を送りました。



■ 地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

東北楽天ゴールデンイーグルス、ベガルタ仙台、仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして、地元プロスポーツチームの活動を支援し、地域のスポーツ振興に貢献しております。また、ベガルタ仙台のアカデミーチーム（小学生～高校生）のユニフォームスポンサーとしても活動を支援しております。

2019年4月より、当行がお客さまから受け取る手数料の一部を、活動資金として寄付する「7地元プロスポーツ応援私募債（寄付型）」の取扱いを開始しております。



■ 運動部の活動を通じたスポーツ振興

当行では、運動部の活動を通じて地域のスポーツ振興に取り組んでおります。

硬式野球部、陸上競技部、バドミントン部は、都市対抗野球大会や日本陸上競技選手権大会、バドミントンS/リーグなどの全国レベルの大会等に、またパラバドミントン競技では国際レベルの大会等に出場し、地域に明るい話題や活力を提供できるよう活動しております。

■ 運動部3部合同運動教室「77キッズ・チャレンジ ～はしる!うつ!なげる!～」の開催【140周年記念事業】

2018年11月、創業140周年記念事業の一環として、小学1・2年生の児童とその保護者の方を対象に、当行運動部3部合同の運動教室を開催いたしました。3部が合同で指導を行うのは初めてであり、約300名の参加者の皆さまに、野球、陸上、バドミントンのすべてのスポーツを体験し、楽しんでいただきました。



TOPICS

バドミントン部に所属する鈴木亜弥子選手は、「パラバドミントン世界選手権」に日本代表として出場し、2018年度には4つの国際大会で金メダルを獲得しました。2017年12月、仙台市よりスポーツ等で優れた功績があった個人等を表彰する「賛辞の楯」を受賞したほか、2020年開催の東京パラリンピックへの出場およびメダル獲得が期待されております。



社会福祉への貢献

■ 七十七愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝の意を表すため、1994年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として、当行役職員が設立いたしました。

2018年度は、「平成30年7月豪雨」の被災地に対する支援として、日本赤十字社に災害義援金196万円を送りました。また、宮城県内社会福祉協議会から推薦を受けた社会福祉施設10団体とボランティアグループ14団体に対し、寄付金として総額337万円を贈呈しました。贈呈した募金は、施設の修繕費用、ボランティア活動運営費などにご活用いただいております。



■ 企業献血による献血事業への協力

医療に必要な血液の安定的な確保に寄与するため、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、企業献血を実施しております。2018年度は、本店および営業店において移動採血車による献血を実施し、294名が参加いたしました。

また、当行は、2008年に創業130周年を記念して、宮城県赤十字血液センターに移動採血車1台を寄贈しており、県内各地でご活用いただいております。



■ 「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、43年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっております。

毎年、仙台七夕まつりの開催前には、「夏の仙台・クリーンキャンペーン」を実施しており、2018年度は当行行員110名を含む約290名が参加し、環境美化活動に取り組みました。

また、毎年県内の社会福祉施設に車椅子を寄贈するとともに、老人福祉施設を慰問し、演芸大会などを行っております。そのほか、県内の小学校などにミニヒマワリの種子を寄贈する活動および使用済の切手の収集を行い収集実践団体等へ寄贈する活動も行っております。

